

### APU ライブラリー・ミッションステイトメント

APU ライブラリーの活動を評価し、PDCA サイクルを回す際に活用できるようなものとなるよう、APU ライブラリーのミッションステイトメントを、以下の通り定める。

APU ライブラリーはアジア太平洋に位置するラーニング・コモンズとしてインクルーシブ(包括的かつ開放的)な社会の発展に寄与し、多様なバックグラウンドを有する利用者の協働学修、知識の獲得と創造、その成果の社会への応用、および、生涯学習と自己変革を支援する。

上記のミッションステイトメントの達成状況を確認するため、以下の評価項目により点検・評価を行う。

- (1) ラーニング・コモンズとして、知識の獲得と創造、および成果の社会への応用を支援するため、幅広いテーマの資料（図書、定期刊行物＝学術誌、雑誌、新聞、データベース、映像資料など）を、電子媒体や紙媒体などの様々な形態で提供できているか
- ① 3学部2研究科2センターの学修・教育・研究に応じた多様な資料が確保されているか
  - ② 学部生・大学院生の出身国に応じた多様な資料が確保されているか
  - ③ 利用に応じた多様な形態が確保されているか
  - ④ 学修・調査・研究に活用できる学術研究機関などのサービスに関する情報が提供されているか
    - A) サービスとは、インターネットサイト（学術研究機関、無料のデータベース、国会図書館のデータベース）、実際に訪れて使用できる他の図書館（大分県内の図書館、九州内の図書館、国立国会図書館）などが考えられる
  - ⑤ 他図書館との資料借用・文献複写のネットワークが確保されているか
  - ⑥ 利用者を支援するため、図書館・学術情報サービスに関する専門的な知識を有するスタッフが配置されているか

(2) ラーニング・コモンズとして、人々の自己変革と生涯学習を支援するために、多様なバックグラウンドを有する人々が協働して知識を深め、新しい価値の創造に結びつく場と機会を実施できているか

① 場

A) PANGAEA、マルチメディアルーム、プレゼンテーションルームなどの各スペースが適切かつ様々な人々に利用されているか

B) 学生の学習に配慮した図書館利用環境（座席数、開館時間等）が整備されているか

② 機会

A) 利用ガイダンスやワークショップなどのイベントを実施しているか

B) また、上記のイベントに様々な人々が参加しているか

(3) 生涯学習の場として、教職員や一般市民は利用できているか

① 教職員の利用状況

② 一般市民用ライブラリーカードの発行枚数